

日本天文学会 1976 年春季年会

プログラム

日 時 昭和50年5月18日(火)～5月21日(金) 午前9時30分～午後5時
場 所 東京都文京区本郷 東京大学理学部2号館講堂

午前	9時	10	11	12	午後	1	2	3	4	5	講演番号
5月18日 (火)	位置 時間	力学	太陽系	理 事 会			太陽系	太陽			1～43
5月19日 (水)		太陽	内部構造	評議員会		X 線 パルサー		特別講演		懇親会	44～72
5月20日 (木)			恒 星			恒 銀 河 系		総 会			73～100
5月21日 (金)			銀河系			銀 河 系		宇 宙			101～141

- ☆ 講演時間は一題について7分です。講演者は割当時間を厳守して下さい。
- ☆ スライドは透視した時に正しい上下左右関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順序番号を書き、下縁に5mm位の幅に赤線をつけて下さい。ビラは用いず、スライドを準備して下さい。
- ☆ 会場費等の一部にあてるために、出席者から参加費を徴集します。一般500円、学生300円
- ☆ 18日正午より理事会、19日正午より評議員会、20日午後3時半より総会(諸報告、51年度予算、天体発見賞贈呈、日本天文学会神田茂記念賞贈呈、B組評議員改選の件等について)を行ないます。
- ☆ 19日午後の講演終了後特別講演(講師:林 忠四郎、講演題目:太陽系の起源)があります。
- ☆ 懇親会は、19日夕方、東京大学山上会議所に於て行なわれる予定。
- ☆ この他、天文教育懇談会が5月18日午後1時～4時半まで理学部3号館天文学教室に於て“小学校の天文教育の指導例と問題点”と題して開かれます。

第1日 5月18日(火) [午前] (9時30分より)

1. 松丸 勝(防衛大学校電気科): 気象衛星 NOAA からのファックス受信の概要
2. 飯島重孝, 藤原 清, 加藤 正(東京天文台): センシウム時計に及ぼす周囲温度の影響
3. 平山智啓, 古川麒一郎(東京天文台): 電子計算機による AGK 3 星表の利用
4. 角田忠一, 村上源吉, 北郷 拓, 岩館健三郎(緯度観測所): 水沢 PZT 1 号機の星系の視位置誤差
5. 若生康二郎(緯度観測所): 連鎖法による星表誤差の補正について
6. 中嶋浩一(東京天文台): ノイズを含む不規則な時系列データの解析 (PZT への応用)
7. 後藤幸夫, 大江昌嗣(緯度観測所): 天文観測極座標による励振極位値の推定:
(I) Doppler 観測データの利用
8. 高木重次(緯度観測所): 粘性をもつ電磁流体核をもつ地球の運動
9. 笹尾哲夫, 岡本 功, 酒井 俐(緯度観測所): コアーマントル消散結合と章動運動
10. 堀 源一郎(東大理): インプリシットな正準変換に基づく摂動論
11. 湯浅学, 堀源一郎(東大理): 2つの惑星の相互摂動 (V)
12. 久保良雄(水路部): 放物線軌道に近い運動の解法
13. 関口直甫(東京天文台): 月面反射光の偏光測光観測 (III)
14. 清水幹夫(東大宇宙研): 最近の金星・火星分子過程データ解析
15. 前田耕一郎, 小田進幸(兵庫医大・物理): 木星デカメーター波の観測 (I)

16. 川村憲次, 鈴木育郎 (名大理): 木星のS-バーストの放射機構
17. 畑中至純 (東京天文台): 土星衛星の観測整約法
18. 古在由秀 (東京天文台): 土星の衛星の質量
19. 長沢 工 (東大地震研): 流星の発光時間

第 1 日 5 月 18 日 (火) [午後] (1 時 30 分より)

20. 向井 正 (金沢工大): 彗星塵の光学特性
21. 宮下曉彦, 田鍋浩義 (東京天文台): Kohoutek 彗星 (1973 f) の gas tail の運動 (III)
22. 齋藤馨児, 冨田弘一郎, 神田 泰, 小関高明*, 利根川滋彦* (東京天文台, *東京学芸大):
ウェスト彗星 (1975 n) の観測
23. 奥田治之, 川良公明, 小林行泰, 舞原俊憲, 野口邦男, 佐藤修二, 大石正幸* (京大理・*東北大理):
West 彗星の赤外線測光及び偏光観測
24. 中村 士 (東京天文台, 学振): Sun-grazing comets の分裂メカニズムについて
25. 向井苑生 (金沢工大): 凹凸底面を持った惑星大気の輻射強度
26. 川田剛之 (金沢工大): 惑星大気による太陽光の Circular polarization
27. 寺下陽一 (金沢工大): 多重散乱問題のモンテカルロ解
28. 上野季夫 (金沢工大): 一次元多色反射及び伝達関数の初期値解
29. 吉村宏和 (東大理): 太陽周期活動一般磁場の位相関係について
30. 辻 隆 (東大理): 太陽大気の炭素組成
31. 牧田 貢, 根本清一* (東京天文台, *三井情報開発): 太陽黒点磁場の深さ分布
32. 川口市郎 (京大理): 黒点発生の機構について
33. 平山 淳, 今井英樹, 清水一郎, 守山史生 (東京天文台): 白斑のモデル
34. 西 恵三, 東 康一, 山口朝三 (東京天文台): 太陽真空紫外領域の観測 (IV)
35. 神野光男 (飛騨天文台): He I と He II の共鳴線の強度
36. 末元善三郎 (東大理): 太陽, 恒星の H, K, h, k 線
37. 日江井栄二郎, 岡本富三 (東京天文台): 1975 年 8 月 2 日のリム・フレアについて
38. 田中捷雄 (東京天文台): フレア活動に伴う光球彩層の変化
39. 内田 豊, 桜井 隆* (東京天文台, *東大理・天文): フレア理論と交換型不安定性
40. 椿 都生夫, 山村秀人 (滋賀大教育): プロミネンス及び周辺コロナにおける速度場
41. 桜井 隆, 内田 豊* (東大理, *東京天文台): 活動域コロナの磁場構造と current sheet (II)
42. 小杉健郎 (東大理): 1971 年 12 月 14 日の II-IV 型バーストとコロナ擾乱
43. 高倉達雄 (東大理): 太陽電子流とプラズマの相互作用

第 2 日 5 月 19 日 (水) [午前] (9 時 30 分より)

44. 小島正宜, 渡辺 堯, 柿沼隆清, 石田善雄, 丸山一夫 (名大空電研):
惑星間空間シンチレーション観測装置の改善
45. 鰐目信三, 柴崎清登, 石黒正人, 田中春夫, 柿沼隆清, 渡辺 堯, 小島正宜 (名大空電研):
1975 年 9 月—12 月の回帰性 Coronal Hole と高速太陽風流
46. 柴崎清登, 石黒正人, 鰐目信三 (名大空電研): Coronal Hole の電波観測
47. 中島 弘, 甲斐敬造, 鰐目信三* (東京天文台, *名大空電研):
顕著な時間変動を示す S 成分のスペクトルについて
48. 石黒正人, 鰐目信三, 柴崎清登 (名大空電研): 波長 8 cm での静かな太陽の輝度分布
49. 河籾公昭, 小川英夫, 秋田圭介, 面高俊宏, 藤下光身, 山田茂樹, 加藤龍司 (名大理):
35 GHz 太陽干渉計による太陽面輝度分布
50. 柴橋博資, 尾崎洋二 (東大理): 水素殻燃焼期の星の重力モードの安定性
51. 安藤裕康 (東大理): 晩期型星の音波モードの過安定性とその観測的意味について
52. 尾崎洋二 (東大理): セファイド星の非動径振動の安定性

53. 根尾定幸 (京大理): Semi-Detached Binary System 内の定常気体流
54. 成相恭二, 杉本大一郎* (東京天文台, *東大教養): 連星系よりの不安定なガス流
55. 杉本大一郎, 根尾定幸*, 野本憲一, 藤本正行** (東大教養, *京大理, **東大理):
連星における質量移動と連星系の進化
56. 藤本正行 (東大理): R型炭素星の起源について
57. 斎尾英行 (東北大大理): 球状星団の重元素量と年齢について
58. 野本憲一, 杉本大一郎 (東大教養): 白色矮星への Accretion と超新星
59. 奥田 享, 坂下志郎* (北海道教育大函館分校, *北大大理):
Accretion による限界光度とその不安定性
60. 荒井賢三, 上西啓祐 (熊本大理): 一般相対論的ガス球の重力平衡解 (II)

第 2 日 5 月 19 日 (水) [午後] (1 時 30 分より)

61. 国枝秀世, 早川幸男, 加藤隆子, 長瀬文昭, 山下広順, 村上敏雄*, 田中靖郎* (名大理・*東大宇宙研):
宇宙一様軟 X 線の観測
62. 早川幸男, 長瀬文昭, 山下広順, 田中靖郎* (名大理, *東大宇宙研):
軟 X 線 Diffuse 成分のエネルギースペクトル
63. 加藤隆子 (名大理): 古い超新星の残骸からの軟 X 線スペクトル
64. 横沢正芳, 兼古 昇 (北大大理): NGC 4151 の X 線輻射
65. 伊藤 裕 (京大理): Cas A の X 線輻射-衝撃波モデル (II)
66. 坂下志郎, 奥田 享* (北大大理, *北海道教育大函館分校): 暫時的 X 線源のモデル
67. 高岸邦夫, 常深 博*, 松岡 勝*(宮崎大工, *東大宇宙研): A0620-00 の減光観測と周期性の解析
68. 牧島一夫, 栄楽正光, 河野宣之*, 川尻轟大*, 常深 博, 松岡 勝, 森内 勉
(東大宇宙研, *電波研鹿島): ScoX-1 の光と電波の同時観測
69. 常深 博, 松岡 勝, 西村史朗* (東大宇宙研, *東京天文台): Her X-1 の光パルサーの観測
70. 大師堂経明 (東京天文台): 長周期 X 線パルサーの磁場とパルス成分
71. 鈴木育郎, 川村憲次 (名大理): パルサーのラジオ放射機構のモデル
72. 鍋木 修 (東北大大理): 磁気回転体の作る電磁場

第 3 日 5 月 20 日 (木) [午前] (9 時 30 分より)

73. 松岡 勝, 常深 博, 冨田弘一郎* (東大宇宙研, *東京天文台):
60 cm 望遠鏡に取りつけた 3 色分解光電受光装置
74. 高田昌英 (東大理): 2 Cam (O9.5 Ia) と 19 Cep (O9.5 Ib) の細密な分析
75. 斎藤泰道, 斎藤 衛* (岩手大教育, *東京天文台): Be 星大気の高周波不安定
76. 小暮智一, 平田龍幸* (茨城大理, *京大理): プレオネ (B8 e) の最近の活動について (II)
77. 佐藤直宣 (秋田大): 12 DD Lac の週期変化の確認と吸収線輪郭の変化
78. 斎藤恭司 (京大理): β Cephei Stars の周期解析 (2): 12(DD) Lac
79. 渡辺好夫, 加藤正二 (京大理): 光学的に薄い波長領域を持つ気体の対流不安定
80. 定金晃三 (大阪教育大学): 早期型特異星の自転速度と金属度
81. 金 斗 煥, 北村正利* (東大理, *東京天文台): Metallic-Line 近接連星 IW Per の測光
82. 川畑周作 (京都学園大): 31 Cygni 大気の視線速度分布
83. 小平桂一 (東大理): 恒星フレアのモデル
84. 小田直樹, 舞原俊憲, 川良公明, 野口邦男, 佐藤修二, 大石正幸*, 飯島 孝**
(京大理, *東北大大理, **名大理): Nova Cyg 1975 の多色測光
85. 市村喜八郎, 中桐正夫, 渡辺悦二, 野口 猛, 乗本祐慈 (東京天文台):
Nova Cygni 1975 の光電, 分光観測
86. 山下泰正, 安藤裕康* (東京天文台, *東大理): 白鳥座新星 1975 の星間吸収線
87. 山本哲生, 西田修三* (京大理, *撰南大・工): Nova envelope 中での grain の生成

88. 藤田良雄 (東海大): 炭素星大気の高原子分子存在の可能性
 89. 前原英夫, 山下泰正 (東京天文台): 長周期変光星 Mira Ceti の伴星

第 3 日 5 月 20 日 (木) [午後] (1 時 30 分より)

90. 舞原俊憲, 野口邦男, 奥田治之, 佐藤修二, 昆野正博, 大石正幸*, 菊池 仙**
 (京大理, *東北大理, **東京天文台): VY CMa の偏光観測——その時間変化
 91. 野口邦男, 舞原俊憲, 奥田治之, 佐藤修二, 大石正幸*, 向井 正**
 (京大理, *東北大理, **金沢工大): 炭素星における 3μ 吸収帯の狭帯域測光
 92. 近藤正明, 海野和二郎* (東大教養, *東大理):
 IR Object モデルにおける輻射輸送について
 93. 田中 済, 辻 隆, 山下泰正*, 清水 実*, 小平桂一 (東大理, *東京天文台):
 フーリエ分光法による赤外スペクトルの観測
 94. 佐藤修二, 川良公明, 奥田治之, 松本敏雄* (京大理, *名大理):
 極低温半導体ボロメーターの天体赤外線観測への応用
 95. 川良公明, 佐藤修二, 野口邦男, 大石正幸, 小林行泰, 奥田治之, 舞原俊憲 (京大理):
 赤外線源の探索と測光
 96. 大石正幸, 舞原俊憲*, 野口邦男*, 奥田治之*, 佐藤修二* (東北大理, *京大理):
 赤外線源 CRL 2591 の偏光観測
 97. 飯島 孝 (名大理): 近赤外線による一角獣座領域の観測
 98. 近藤 浩, 飯島 孝, 松本敏雄, 宇山喜一郎, 浜島清利* (名大理, *東京天文台)
 M 31 中心部の赤外線観測 II
 99. 松本敏雄 (名大理): 銀河内での赤外線源の分布について
 100. 伊藤浩武 (名大理): 赤外銀河光の気球観測

第 4 日 5 月 21 日 (金) [午前] (9 時 30 分より)

101. 辻村民之, 今川文彦 (京大理): その後の京大 (福知山) シュミットについて
 102. 浜島清利, 石田憲一, 清水 実 (東京天文台):
 105 cm シュミット望遠鏡の試験観測——極軸設定について
 103. 岡村定矩 (東大理): 標準天体 NGC 3379 の表面測光
 104. 吉沢正則 (京大理): 散開星団 NGC 2281 の研究 I. UBV 光電測光
 105. 佐々木敏由紀, 石沢俊亮 (京大理): 球状星団の空間分布について
 106. 近田義広 (東大理): 三鷹 6 m ϕ ミリ波望遠鏡の観測・整約用プログラム言語
 107. 佐藤文男 (千葉県教育センター): W 33 のまわりの中性水素の殻
 108. 海部宣男 (東大理): 銀河中心領域の OH 吸収線サーベイ
 109. 森本雅樹, 宮沢敬輔, 東条 新, 秦 茂, 海部宣男*, 福井康雄*, 長井嗣信*, 浮田信治*
 (東京天文台・*東大理): HCN, HCO⁺(Xogen) のサーベイと新分子線 (SO₂ 他) のサーチ
 110. 稲谷順司, 小平真次*, 石井孝一*, 中村 強*, 長根 潔**, 東条 新**, 佐藤文男***
 (東大理, *木更津高専, **東京天文台, ***千葉県教育センター): 銀河 CO の観測 (II)
 111. 浮田信治, 海部宣男, 近田義広, 宮地竹史*, 東条 新* (東大理, *東京天文台):
 星間 SiO メーカーの観測
 112. 福井康雄, 井口哲夫*, 近田義広, 海部宣男, 長根 潔*, 宮地竹史*, 森本雅樹*
 (東大理, *東京天文台): Sgr A 分子雲の HCN 観測
 113. 高木光司郎, 海部宣男*, 長井嗣信* (富山大文理, *東大理): 星間 CH₃OH 分子の観測
 114. 坂田 朗, 中川直哉 (電通大): 星間分子の合成実験
 115. 鈴木博子 (京大理): 星間における CH, CH⁺ の生成率
 116. 出口修至, 福井康雄 (東大理): 収縮しつつある分子雲中の線形成

117. 佐場野 裕, 吉井 譲 (東北大): 銀河初期の熱的不安定性
 118. 中野武宣, 中村卓史 (京大理): 両極性拡散による磁気星間雲の分裂——線型理論

第 4 日 5 月 21 日 (金) [午後] (1 時 30 分より)

119. 加藤正二 (京大理): 恒星系における密度相関の振舞——乱流状態の場合——
 120. 西田実継, 石沢俊亮 (京大理): Freeman の楕円柱の安定性について
 121. 祖父江義明, 藤本光昭, 土佐 誠 (名大理):
 電波スパーと、渦状構造と、銀河ハローを水平に吹くガス流
 122. 森田一彦, 坂下志郎 (北大): 一様でない媒質中の点源爆発
 123. 下小田博一 (愛知教育大): Galactic Shock の Kinematic Disturbances
 124. 斎藤隆雄 (名大理): 巨大楕円銀河のハロー形成モデルについて
 125. 羽部朝男, 兼古 昇, 坂下志郎, 大野陽朗 (北大・物理): Tidal Deformation of a Star
 126. 冨田憲二, 田島延樹 (広大理論研): シュワルツシルト重力場の非球対称非線型摂動について
 127. 藤本光昭, 祖父江義明 (名大理): 銀河系—LMC—SMC 系の力学 (II)
 128. 若松謙一 (岐阜大・工短): 系外星雲の球状星団の個数について
 129. 西村雅樹, 外山清高, 兼古 昇 (北大):
 銀河核 XIV. NGC 1068 の高電離領域と速度場について
 130. 兼古 昇, 西村雅樹, 外山清高 (北大): 銀河核 XV. 活動銀河の変光
 131. 昆野正博, 田原博人* (京大理・*宇都宮大教育): コンパクト銀河と電波源との同定
 132. 川尻轟大, 昆野正博*, 井上 允** (電波研鹿島, 京大理*, 名大理**): コンパクト銀河の電波観測
 133. 井上 允, 田原博人* (名大理, *宇都宮大教育): QSO 等の偏波
 134. 菊池 仙, 三上良孝, 昆野正博* (東京天文台, *京大理): BL Lac 型天体の短周期変動
 135. 会津 晃 (立教大理): 乙女座銀河集団の電波の L-(L/V) 図
 136. 柴崎徳明, 蓬茨靈運, 高原文郎*, 池内 了* (立教大理, *京大理):
 銀河集団中のホットプラズマについて
 137. 外山清高, 西村雅樹, 兼古 昇 (北大): 特異銀河及び銀河集団の起源 II
 138. 田辺健茲 (広大理論研): 原始宇宙乱流から発生した音波のスペクトル
 139. 稲垣省五 (京都大学理学部): 膨張宇宙におけるゆらぎの密度相関 (III)
 140. 久保守正 (東京海上): 完全流体のためのふたつの非等方性とそれらのふるまい
 141. 全 驥 在 (朝鮮大理): 天体磁場の成因および宇宙抵抗

記

(昭和 51 年度松永賞贈呈実施要項抜粋)

1. 本年度の当財団の科学研究に対する褒賞「松永賞」は、自然科学(理学・工学系)の分野における基礎的研究で、学術上業績が顕著であると認められるものを対象とするが、個人的研究でも、共同研究でもさしつかえない。
2. 「松永賞」の対象者は大学に在職し、昭和 6 年 12 月 1 日以降誕生の少壮有為な科学者中から求める。
3. 「松永賞」は 1 口 100 万円とし、本年度は 3 名を予定する。

学会だより

松永賞受賞候補者推薦について

松永記念科学振興財団より、下記要項にしたがって、松永賞受賞候補者を推薦されたい旨の依頼が学会あてにありました。適当な方がありましたら、6 月 20 日までに学会庶務理事あてに御連絡下さいますようお願い致します。